

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東部公民館施設整備改修事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東部公民館利用者	意図	施設利用者に安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年に開設した施設である。平成20年度に空調機器改修、平成21年度にトイレ改修、平成25年度に屋上防水工事を実施した。平成29年度には第1会議室のエアコンを更新した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利用者件数の増減率		-5.20	-7.20	%	↑↑↑
②	利用者人数の増減率		-9.10	-3	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	昭和50年に開設した施設である。平成20年度に空調機器改修、平成21年度にトイレ改修、平成25年度に屋上防水工事を実施した。平成29年度には第1会議室のエアコンを更新した。
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,950,980	
事業費(b)(円)			608,580	
うち一般財源			608,580	
職員給与費(c)(円)			1,342,400	
人役・職員(人)			0.20	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	施設の老朽化に対応するため、緊急性の高いものから優先して改修を行う。	③取組の課題	施設が老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切である。
②今年度(H29)に実施した取組	第1会議室のエアコンを更新したほか、指定管理者側でロビーのエアコンを改修した。	④今後(H30以降)の改善計画	本事業の関連事業として、バリアフリー対策でエレベーターの設置を計画している。